

縄文文化講座

～茅野市が誇る国宝「縄文のビーナス」
を手掛かりに、土偶の謎に迫る～



中央公民館公式キャラクター
「ちの まなぶ」君

令和8年度は、茅野市が誇る「縄文のビーナス」の出土から40周年となります。

国宝に指定された縄文時代の遺物は現在6つあり、そのうち最初に指定を受けたのが、「縄文のビーナス」です。縄文時代の中で、土偶は特にキャッチーな印象がありますが、土偶からどのようなことが読み取れるのか、未だ多くは謎に包まれています（それが、多くの人を惹き付ける、縄文文化の魅力のひとつかもしれません）。

今年度の講座では、縄文文化の中でも特に土偶に焦点を当て、茅野市の文化財行政を担う若手担当者による講演を行います。

1 日時 令和8年11月11日、18日、25日

午後6時30分から午後8時（水曜日・全3回）

2 内容・講師（いずれも茅野市文化財課職員）

回数	日にち	内容	講師
第1回	11月11日	土偶の見方 -縄文のビーナスを中心に-	上野 主事
第2回	11月18日	情報媒体としての土偶 -壺を抱く土偶を例に-	吉村 主任
第3回	11月25日	民族考古学から読み解く土偶	堀川 主任

3 会場 茅野市中央公民館 2階 学習室

4 定員 25 名

5 受講料 無料

6 受講資格 縄文文化に興味のある方
（市内・市外問いません）

7 申込先 茅野市中央公民館へ
電話（0266-72-3266）または
[インターネット\(LoGo フォーム\)](#)から申込

8 受付開始 10月2日（金）午前10時から



▲申込フォーム

